

1. 科目名 (単位数)	専門演習ⅡA (社会福祉制度・政策理論研究) (2単位)	3. 科目番号	SSMP6201
2. 授業担当教員	金 貞任、尹 文九、藤田 伍一、佐々木 貴雄		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	通年
6. 履修条件・他科目との関係	専門演習ⅠAに引き続く演習科目である。論文の指導教員が担当する専門演習を履修すること。	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	専門演習は、各研究分野ごとに、教員がチームティーチングで担当する科目である。専門演習Ⅱでは、研究の進捗状況について、学生間で報告をし合う場所を提供して互いの研究能力を高めていくとともに、各分野の教員の指摘を受けることによって、よりよい修士論文の作成へとつなげていくことを目的とする。受講者には、自らの研究について積極的に取り組むとともに、その成果をまとめ、発表する力を高めていくことが求められる。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの研究の進捗状況について報告するなかで、その成果と今後の課題について把握することができる。 ・修士論文をもとに、その意義や成果についてプレゼンテーションを行うことができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業の中で、自らの修士論文の進捗状況を報告すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特に定めない。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 8. 学習目標を達成することができたか。 ○評定の方法 自らの研究についての授業での発表 100%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目開講中の8月には中間発表、11月には草稿提出、1月には修士論文提出、2月には口頭試問が予定されている。本科目を十分に活用し、よりよい修士論文の完成を目指してほしい。		
13. オフィスアワー	授業において各担当教員に確認されたい。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1-4 テーマ	研究課題と先行研究レビュー (金)		
【学習の目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の背景を学ぶ。 ・先行研究のレビューについて学習する。 ・先行研究のまとめについて学習する。 ・修士論文の構想発表について学習する。 		
【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の背景とは何かについて理解する。 ・高齢者などに関する先行研究レビューの目的、オリジナリティを発見する。 ・高齢者などに関する先行研究のまとめの手法を学習する。 ・修士論文の書き方のプロセスを身につける。 		
【キーワード】	課題研究、先行研究レビュー、先行研究のまとめ、構想発表		
【学習の課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容を探索的に探る。 ・研究課題の背景と目的、先行研究のレビューが必要な理由を探る。 		
【参考文献】	岩田正美ほか『社会福祉研究法』有斐閣アルマ、2006 老年社会学会科学雑誌を中心に購読		
5-7. テーマ	課題研究と先行研究の発表 (金)		
【学習の目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の背景と目的の記述を学ぶ。 ・課題研究の先行研究レビューの理由とまとめを学習する。 		
【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の背景と目的の長所と短所を発見する。 ・課題研究の先行研究レビューの長所と短所を発見する。 		
【キーワード】	課題研究、先行研究レビュー、長所と短所		
【学習の課題】	課題研究の発表のレジユメの作成を徹底的にする。		
【参考文献】	授業中に提示		
【学習する上での留意点】	課題研究のレジユメの作成の時に、引用文献の記述は忘れずにすること。		
8-11 テーマ	先行研究と論文の構成 (尹)		
【学習の目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・先行研究と論文の関連性を学習する。 		
【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・政策的なアプローチと研究方法について学習する。 ・アカデミックエッセションと論文のテーマについて理解を深める。 ・先行研究から論文の関連性について理解を深める。 ・論文の目的から目標などの構成について学習する。 ・論文提出のための進捗状況について確認する。 		
【キーワード】	先行研究、政策的なアプローチと研究方法、章立て		
【学習の課題】	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の内容を探索的に探る。 ・授業の際、出されたキーワードや課題について調べて授業に参加する。 		
【参考文献】	尹文九『高齢社会の政治経済学—日本の高齢者福祉政策を中心に—』ミネルヴァ書房、2017 など		
【学習する上での留意点】	院生としての心構えで授業に臨むこと。		
12-15. テーマ	章立ての内容と論文の全体のまとめ (尹)		
【学習の目標】	各章立ての内容の確認と論文作成の際、全体のまとめと注意点について理解を深める。		

【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・章立ての内容と章ごとの関連性について理解を深める。 ・引用、参考文献、注、図、表などの表記について学習する。 ・論文と結論の関連性について学習する。 ・今まで取り組んだ論文の内容を発表して進捗状況を確認する。
【キーワード】	事例研究、比較研究、政策形成や決定プロセスなど
【学習課題】	・授業の際、出されたキーワードや課題について調べて授業に参加する。
【参考文献】	尹文九『高齢社会の政治経済学—日本の高齢者福祉政策を中心に—』ミネルヴァ書房、2017 など
【学習する上での留意点】	院生としての心構えで授業に臨むこと。
16. テーマ	福祉国家の諸課題を幅広くみて修論に取り込めるかを考える。(藤田)
【学習の目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・現代福祉国家の実像を理解し、その中で修論の立ち位置を考えてもらう。 ・福祉国家段階の課題とそのプロセスについて考えてみる。
【学習の内容】	・福祉国家の条件と政策課題をいくつか提示してみたい。
【キーワード】	・総合社会政策、環境政策、社会保障制度、労働問題等。
【参考文献】	・関係資料などは授業で説明する。
17~19. テーマ	修士論文の構想と準備状況を聞き取る。(藤田)
【学習の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表の内容と反省点について発表を聞き取る。(3コマを充当する予定) ・修士論文の方向付けについて自信を持つ。
【キーワード】	・研究課題と研究方法が整合化しているか。
【学習の課題】	・特に重要なのは問題意識である。
【参考文献】	・各自で先行論文をリストアップして提示すること。
20. テーマ	修士論文の構想と準備に対する評価を伝える。(藤田)
【学習の目標と内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の発表を補足する内容を聞き取る。 ・担当教員の評価またはその補足をおこなう
【学習する上での留意点】	・時間があれば福祉国家の課題を一緒に考えてみる。
21-23. テーマ	論文の修正プロセス (佐々木)
【学習の目標】	修士論文完成に向けて、自らの課題を踏まえて修正プロセスを進められること。
【学習の内容】	草稿の内容について発表し、現段階の到達点と今後の課題について各自発表する。
【キーワード】	リサーチクエスション 結果 考察 結論
【学習の課題】	草稿の内容を踏まえ、自分の論文の内容について説明できるようにしておくこと。
【参考文献】	日本ソーシャルワーカー学会監修『ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック』中央法規、2019年 久田則夫編『社会福祉の研究入門 研究立案から論文執筆まで』中央法規、2003年 大学院要覧の「修士論文の手引き」のページ大学院要覧の「修士論文の手引き」のページ
【学習する上での留意点】	草稿提出から修士論文提出までは、わずかである。計画的に作業を進めること。
24-27. テーマ	データ・資料の分析結果の検討 (佐々木)
【学習の目標】	データや資料の分析結果について、説明できるようにする。
【学習の内容】	データや資料の分析結果をもとに、自分の論文の進捗状況について説明し、改善点を得る。
【キーワード】	質的 量的 仮説と検証
【学習の課題】	データや資料の分析結果をもとに、自分の論文の進捗状況について説明できるようにすること。
【参考文献】	岩田正美他『社会福祉研究法 現実世界に迫る 14 レッスン』有斐閣アルマ、2006 伊藤修一郎『政策リサーチ入門 一仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会、2011 佐藤郁哉『社会調査の考え方 上・下』東京大学出版会、2015
【学習する上での留意点】	結果が出ていないものに対して考察を加えることはできない。根拠を明確にすること。
28-30. テーマ	口頭試問での発表準備 (佐々木)
【学習の目標】	口頭試問の発表の準備をする。
【学習の内容】	・口頭試問の発表準備とリハーサルを行い、想定される質問に対する答えを検討する。
【キーワード】	プレゼンテーション 質問
【学習の課題】	・口頭発表の準備をしておくこと。
【参考文献】	佐藤雅昭『なぜあなたの発表は伝わらないのか? できてつり!? そこが危ないプレゼンテーション』メディカルレビュー社、2017 渡部欣忍『あなたのプレゼン誰も聞いてません! —シンプルに伝える魔法のテクニック』南江堂、2014
【学習する上での留意点】	時間内でコンパクトに分かりやすく説明することができるよう、準備には十分な時間をかけること。